

横浜市立万騎が原中学校 学校だより



桐の花

令和6年4月19日

校長 綿貫 芳人

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

新年度を迎えて

校長 綿貫 芳人

今年度の入学式は、新入生 289 名を歓迎しているかのように桜が満開でした。万騎が原中学校には、正門を入った左側と右側に桜の木が 1 本ずつあります。今年は全国的に開花が遅れていて、まだかまだかと開花を待ち焦がれていましたが、入学式の日には桜がみられることに幸せを感じました。今年度の万騎が原中学校は、1 年生 7 クラス、2 年生 8 クラス、3 年生 7 クラス、個別支援学級 5 クラスの合計 27 学級、全校生徒 866 名で 64 年目がスタートしました。

【始業式での校長の話から一部抜粋】

「神田 伯山（かんだ はくざん）という人を知っていますか。職業は、講談師です。『日本一チケットが取れない』『100 年に一度の天才』などと言われています。その彼が、先日テレビのインタビューの中で、これから新しいスタートを切る人に一言と言われ、『私なんかがそんな・・・』と言いながら、『あえて言うなら、とにかく恥をかいたほうがいい』『恥をかくことは、前進していること』と言っていました。彼は、若い頃、師匠に『とにかく恥をかけ』と言われてきたそうです。私は、いい話だなと思いました。恥は言い換えると失敗とも言えます。恥をかいたときや、失敗したときは、決して落ち込むことなく、『私は成長しているんだ』と考えてください。人は不思議です。上手くいかなくても、一生懸命にやっている人は共感を呼びます。新年度のスタートである今日の節目に、新しいことにチャレンジしたり、新しい自分を試したりするにはとてもいいタイミングです。私たち教職員は、皆さんのチャレンジを、小さな成長を応援しています。」

【入学式での校長の式辞から一部抜粋】

「これからの中学校生活をより充実させるために、皆さんに心がけてほしいことがあります。万騎が原中学校の学校教育目標の『自ら学び、自ら考えることができる』『豊かな心で互いに高め合い、生活ができる』にもつながることですが、『どんなことにも自分からチャレンジし、そのチャレンジを互いに認め合う』ということです。自らすすんでチャレンジし、たくさん経験することで、自分の見える世界が広がって、より考えも深まり、できることも増えていきます。ぜひ様々なことに自分からチャレンジしてください。

最後になりますが、保護者の皆様、本日はご入学おめでとうございます。私たち教職員は、生徒一人ひとりの持っている力を最大限に引き出せるように精一杯努力してまいります。私は、お子様

の健やかな成長のためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながら、『信頼関係に根差した関係』を築いていくことが何よりも大切だと感じております。このことは、一朝一夕には難しいことですが、ゆっくりと時間をかけながら、より深い、より強固な信頼関係が築けるように教職員一同努めてまいります。」

振り返ってみると、入学式の中での私の話、PTA 会長石塚様からの式辞、生徒会長の話、新入生代表生徒の話、それぞれの話の中に「チャレンジ」という言葉がキーワードであったように思います。失敗や恥をかきながら、みんなでチャレンジし、成長する一年間にしていきたいと感じた一日でした。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただきながら、共に教育活動を進めてまいりたいと考えております。気になることや心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なくご連絡いただけたらと思います。改めまして、今年一年間よろしく願いいたします。